

日刊工業新聞 2008 年 10 月 9 日紙面に、記事  
 「現場のエネ消費監視 インスター・イツ・ジャパン 無駄・漏れ検出」  
 が掲載されました。

は低価格のメッキを担当。茨

代表を務める。西野精器  
 製作所（茨城県ひたちな  
 か市）が金型の部品加  
 工、茨城プレイング  
 工業（同北茨城市）が銀

メッキの開発を担当。茨  
 城大学、産業技術総合研  
 究所が材料の評価、茨城  
 県工業技術センターが情  
 報提供する。

## 現場のエネ消費監視

インスター・イツ  
 ツ・ジャパン  
**無駄・漏れ検出**

【神戸】インスター・  
 イツ・ジャパン（兵庫  
 県加古川市、稲岡睦夫社  
 長、079・454・4

シ、エネ出口

円から」などあいまい

目。建設業界を中心に顧

311)は、エネルギー  
 管理システム「エネルギ  
 ス」を発売した。親会社  
 であるチェコのインスタ  
 ー・イツ・オストラバが  
 蓄積してきた省エネ実績  
 を武器に、日本企業へ売  
 り込む。エネルギー使用  
 料年間1億円以上の企業  
 が対象で、3年後に3億  
 円の売り上げを目指す。  
 エネルギスは加工装置  
 や原材料タンクなどに計  
 測器を取り付け、設備や  
 製造ラインのエネルギー

消費を監視。エネルギー  
 の無駄や漏れなどを検出  
 し改善することで、省エ  
 ネを実現する。価格はソ  
 フトや計測器などを合わ  
 せ2000万円から。  
 英語、ドイツ語など5  
 言語に対応しており、11  
 月に日本語を追加。今後  
 中国語や韓国語なども増  
 やし、国内工場に加え海  
 外工場にもシステムを導  
 入することで、グローバ  
 ル管理を可能にする。当  
 面、近畿圏を中心に販  
 売、将来は代理店を組織  
 し、全国展開する。